

## DIAM中国A株ファンド

追加型投信/海外/株式

月次運用レポート  
2012年5月

当資料は8枚ものです。P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会

## DIAM中国A株ファンド

### 追加型投信 / 海外 / 株式 月次運用レポート (2012年5月)

#### 商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

ファミリーファンド方式により、信託財産の成長をめざして運用を行います。

- 中国経済の発展に伴い、今後の成長が期待される中国企業の株式に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長をめざします。
  - ・主として「DIAM中国A株マザーファンド」および「DIAM中国株式(除くA株)マザーファンド」への投資を通じて、中国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している中国株に投資します。
- 中国企業の株式への投資にあたっては、中国A株を中心に組み入れることを基本とします。
  - ・中国A株の実質組入比率は、原則として通常時には純資産総額の70%程度以上とすることをめざします。ただし、資金動向、市場動向等によっては、実質組入比率を引き下げることがあります。
  - ・「DIAM中国A株マザーファンド」の組入比率は、中国のQFII(適格外国機関投資家)制度※にて認可された投資限度額、各投資対象市場における投資制度、および流動性等を考慮した上で決定します。
  - ※QFII(Qualified Foreign Institutional Investors)制度とは、一定の適格条件を満たし、中国証券監督管理委員会(CSRC)の認可を受けた国外の機関投資家に対し、中国A株等の人民元建の有価証券への投資を可能とする制度です。
- マザーファンドの運用にあたっては、DIAM Asset Management (HK) Limitedの投資助言を活用します。
- 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

#### 主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 株価変動リスク…………… 当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。
- 為替リスク…………… 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。
- 信用リスク…………… 実質的に投資する株式や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。
- 流動性リスク…………… 当ファンドは、実質的に市場規模が小さい株式等に投資する場合があります。そのような市場では、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。
- カントリーリスク…………… 当ファンドが実質的に投資を行う通貨や株式の発行者が属する国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化などが為替市場や株式市場におよぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制などの種々な規制の導入や政策の変更等の要因も為替市場や株式市場に著しい影響をおよぼす可能性があります。

#### その他の留意点

<中国A株投資におけるリスクについて>

- 回金遅延リスク…………… 中国A株への投資については、QFII制度上の回金規制の制約を受けます。その場合、ファンドにおいて、換金代金等の支払いが遅延することや、委託会社の判断で信託期間を延長することがあります。
  - ※回金とは、中国からの送金を指します。また、回金規制は今後変更される可能性があります。
- 税制リスク…………… 将来的に、中国国内における期間収益に対する所得税等の税金が課されることとなった場合には、ファンドがこれを実質的に負担する可能性があります。また、QFIIに対する中国国内の課税の取扱いについては、今後変更される可能性があります。

<中国A株投資における留意点>

- 中国の関係法令は近年制定されたものが多く、その解釈は必ずしも安定していません。
- QFII制度における中国国外への送金規制等により、換金に伴う支払い資金の不足が予想される場合には、換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた換金のお申込みを取り消すことがあります。
- ファンドが投資対象とする「DIAM中国A株マザーファンド」は、委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社がQFIIとして認可された投資枠の範囲内で、中国A株に投資を行います。「DIAM中国A株マザーファンド」において中国A株の保有が不可能となった場合、DIAMアセットマネジメント株式会社がQFIIとしての認可をCSRCより取り消された場合には、信託期間中であってもファンドを償還いたします。
  - ※上記は中国A株の持つ様々なリスク等のうち、主なリスク等について説明したものであり、全てのリスク等を網羅したものではありません。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は8枚ものです。  
P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

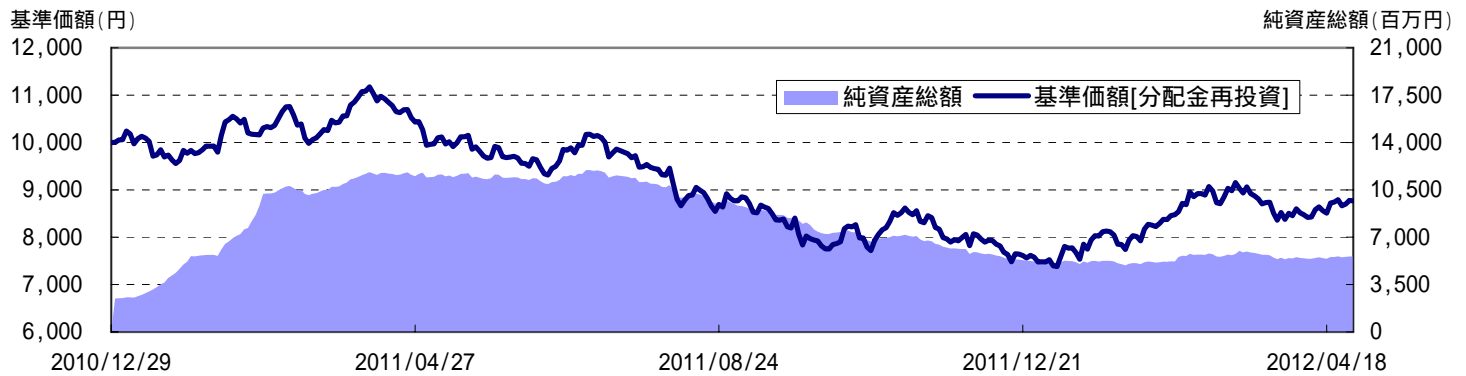
設定・運用は

**DIAMアセットマネジメント**



**DIAM中国A株ファンド**  
追加型投信 / 海外 / 株式  
月次運用レポート (2012年5月)

**運用実績の推移**



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。(設定日：2010年12月30日)  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額	
基準価額	8,770 円
解約価額	8,744 円
純資産総額	5,582 百万円
設定日	2010年12月30日
決算日	原則 12月16日

ポートフォリオ構成	
実質組入比率	98.7 %
内現物等組入比率	98.7 %
内先物等組入比率	0.0 %
現金等比率	1.3 %
組入銘柄数	140

比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

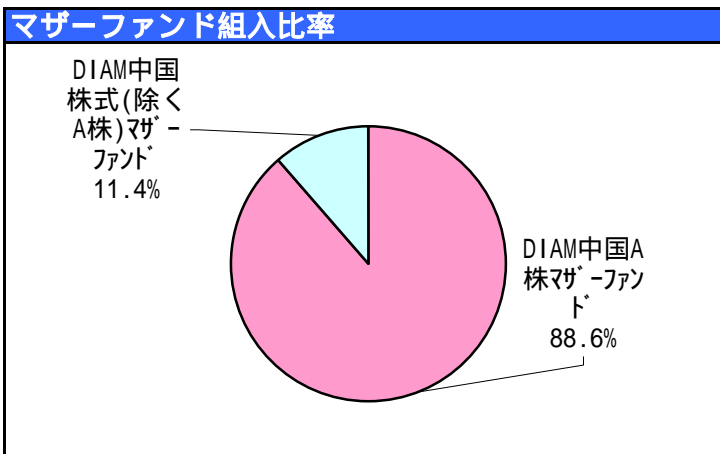
分配金情報 (税引前)		直近3年分
第1期 (2011.12.16) 分配金	0 円	
累計分配金	0 円	

- 1 分配金は1万口当たり
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合があります。

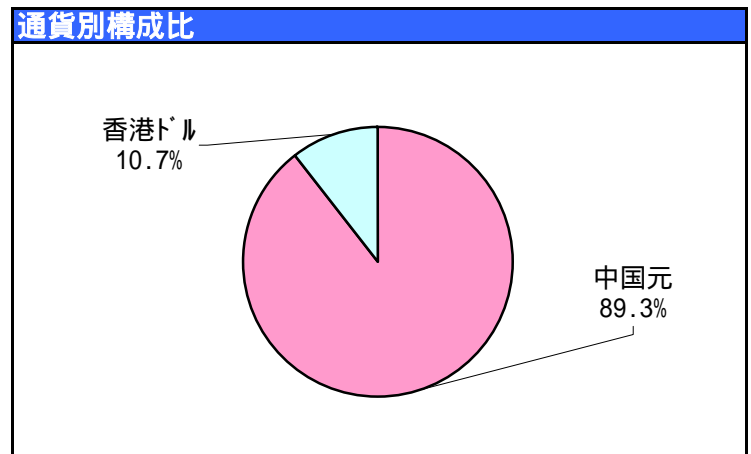
**騰落率 (税引前分配金再投資)**

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	設定来 (2010/12/30)
当ファンド	4.93%	11.66%	5.24%	-16.00%	-12.30%

- 1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。



比率は組入れているマザーファンドの時価評価額の合計に対する割合です。



比率は当ファンドが実質的に投資している有価証券評価額に対する割合です。

当資料は8枚ものです。  
P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

**D I A M中国A株ファンド**  
追加型投信 / 海外 / 株式  
月次運用レポート (2012年5月)

**D I A M中国A株マザーファンドの運用状況**

**基準価額の推移**



(設定日：2010年12月30日)

**基準価額・純資産総額**

基準価額	9,013 円
純資産総額	4,965 百万円

**組入上位10業種**

	業種名	比率
1	銀行	22.09%
2	素材	12.66%
3	資本財	8.66%
4	エネルギー	8.55%
5	食品・飲料・タバコ	8.27%
6	不動産	7.51%
7	保険	5.84%
8	耐久消費財・アパレル	5.32%
9	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.10%
10	各種金融	3.98%

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

**騰落率**

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	設定来 (2010/12/30)
当ファンド	5.75%	13.20%	7.07%	-12.93%	-9.87%

**組入上位10銘柄**

No	銘柄	業種	比率(%)
1	中国建設銀行	銀行	6.69
2	招商銀行	銀行	5.66
3	中国平安保険	保険	4.65
4	興業銀行	銀行	4.46
5	貴州茅台(グイゾウ マオタイ)	食品・飲料・タバコ	3.09
6	万科企業(バンケ キギョウ)	不動産	2.81
7	中国神華能源(チャイナ シェンファ エナジー)	エネルギー	2.66
8	五糧液(ウリヤンイエ)	食品・飲料・タバコ	2.52
9	中信証券(チャイナ シティック ショウケン)	各種金融	2.49
10	上海汽車(SAIC モーター)	自動車・自動車部品	2.24

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

(組入銘柄数：88銘柄)

当資料は8枚ものです。  
P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAMアセットマネジメント**



**DIAM中国A株ファンド**  
追加型投信 / 海外 / 株式  
月次運用レポート (2012年5月)

**DIAM中国株式 (除くA株) マザーファンドの運用状況**

**基準価額の推移**



**基準価額・純資産総額**

基準価額	8,065 円
純資産総額	640 百万円

**組入上位10業種**

	業種名	比率
1	銀行	21.96%
2	エネルギー	13.18%
3	不動産	11.34%
4	資本財	10.95%
5	素材	6.80%
6	自動車・自動車部品	6.62%
7	保険	4.20%
8	テクノロジー・ハードウェア および機器	3.41%
9	ソフトウェア・サービス	3.09%
10	耐久消費財・アパレル	2.95%

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

**騰落率**

	1ヵ月 (2012/03/30)	3ヵ月 (2012/01/31)	6ヵ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	設定来 (2010/12/30)
当ファンド	-0.14%	4.99%	0.30%	-22.03%	-19.35%

**組入上位10銘柄**

No	銘柄	業種	比率(%)
1	中国工商銀行	銀行	8.73
2	中国海洋石油 (CNOOC)	エネルギー	6.37
3	中国銀行	銀行	5.46
4	新世界発展(ニューワールド デベロップメント)	不動産	3.38
5	騰訊(テンセント)	ソフトウェア・サービス	3.09
6	交通銀行(バンク オブ コミュニケーション)	銀行	2.74
7	勝獅貨櫃(シンガマス)	資本財	2.59
8	中国石油天然気 (ペトロ チャイナ)	エネルギー	2.59
9	中国農業銀行	銀行	2.48
10	中国聯塑(チャイナ リェンスー)	資本財	2.44

比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

(組入銘柄数：52銘柄)

当資料は8枚ものです。  
P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAM**アセットマネジメント



## DIAM中国A株ファンド

### 追加型投信 / 海外 / 株式

### 月次運用レポート（2012年5月）

#### 4月のマーケット動向と当ファンドの動き

4月のCSI300指数は7.0%上昇し、2,626.16ポイントで月の取引を終えました。

企業の決算発表が3月中にほとんど終了していたこともあり、4月は相場を大きく動かす材料はあまり見られませんでした。外部環境に目を向けると欧州では債務危機が依然としてくすぶっていた中、スペインの株式市場が大きく下落するなど不安定な状況が続きました。また中国においても、重慶市のトップを解任された薄氏の不正疑惑が親族に広がりを見せるなど、投資家の間で中国の政治リスクが再認識される形となりました。一方、これまでの株式市場の下落で割安感が出ていたことから投資家の間で買い機運が高まっていた中、金融緩和への期待が再浮上したこともあり、A株市場は月間を通じ上昇基調を維持しました。

当ファンドの基準価額は前月末比で4.93%上昇しました。

当ファンドにつきましては、基本的には前月からのポートフォリオを維持しました。

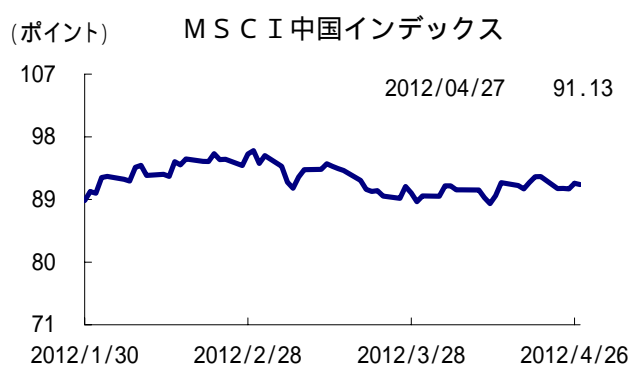
#### 今後のマーケットの見通しと運用方針

今後は市場参加者の焦点が中国景気の動向に移っていくものと思われませんが、最近の不動産販売や一部の機械受注の動向などを見る限り、既に回復軌道に乗りつつあると思われれます。今後の中国株式市場の動きも、徐々にそうした事実を織り込む展開になると予想します。一方で、欧州財政危機については依然予断を許さない状況ですので、引き続き状況を注視していきます。

今後も消費やヘルスケア、金融などの内需関連を中心に好業績が見込まれる銘柄への重点投資を行う方針です。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

#### 指数推移（直近3ヵ月）



指数はBloombergのデータを基に作成しています。

#### 為替推移（直近3ヵ月）



為替レートはTTM（東京外国為替市場の対顧客電信仲値）を使用しています。

CSI300指数は中証指数有限公司の算出する指数で、著作権等のあらゆる権利は中証指数有限公司に帰属します。

MSCI中国インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

当資料は8枚ものです。

P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

**DIAMアセットマネジメント**



**DIAM中国A株ファンド**  
追加型投信/海外/株式  
月次運用レポート(2012年5月)

**お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して6営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	上海証券取引所、深セン証券取引所、香港証券取引所のいずれかの休業日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	中国のQFII制度における投資枠の上限を超えた場合、購入のお申込みの受付を中止することがあります。また同制度において、中国からの回金には一定の制約事項が付されています(2011年12月末現在)。これにより、換金に伴う支払い資金の不足が予想される場合には、委託会社の判断で、換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた換金の受付を取り消すことがあります。 上記にかかわらず、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2020年12月16日までです。(設定日:2010年12月30日)
繰上償還	主要投資対象とするマザーファンドにおいて、人民元建株式の保有が不可能となった場合は、信託契約を解約し、当該信託を終了します。 次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 ①受益権の口数が10億口を下回るようになった場合。 ②受益者のために有利であると認めるとき。 ③やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎年12月16日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回、毎決算日に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 ※「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 ※「分配金自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

**お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

以下の手数料等の合計額等については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<b>●購入時</b>	
購入時手数料	<b>購入価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。</b> ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。
<b>●換金時</b>	
換金手数料	<b>ありません。</b>
信託財産留保額	<b>換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。</b> ※中国A株のキャピタルゲイン課税が導入された場合、その水準等を勘案し、委託会社が定める率に引き上げられる場合があります。
<b>●保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)</b>	
運用管理費用(信託報酬)	<b>信託財産の純資産総額に対して年率1.995%(税抜1.90%)を日々ご負担いただきます。</b>
その他費用・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

当資料は8枚ものです。  
P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAMアセットマネジメント**



**DIAM中国A株ファンド**  
**追加型投信 / 海外 / 株式**  
**月次運用レポート (2012年5月)**

**投資信託ご購入の注意**

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

**当資料のお取扱いについてのご注意**

- 当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとすると基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点(2012年5月11日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 当ファンドは、実質的に株式等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

◆分配金に関する留意点◆

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

◆ファンドの関係法人◆

- <委託会社>DIAMアセットマネジメント株式会社
- <受託会社>みずほ信託銀行株式会社
- <販売会社>販売会社一覧をご覧ください
- <投資顧問会社>DIAM Asset Management (HK) Limited

◆委託会社の照会先◆

- DIAMアセットマネジメント株式会社
- コールセンター 0120-506-860  
(受付時間:営業日の午前9時～午後5時)
- ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

**販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)**

○印は協会への加入を意味します。

2012年5月11日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○				
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○				
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○		○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○		○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○		
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号	○				
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○			
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第40号	○				

- その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。
- <備考欄について>
- ※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- ※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- ※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は8枚ものです。

設定・運用は  
**DIAMアセットマネジメント**

